

Q 森林資源量、CO₂吸収量を維持・増加させるためにどんな対策が必要なの？

A 「**再造林**」による森林循環と、私たちの「**木材利用**」で健全なサイクルを作ることが重要です。

// 森林循環と木材利用で実現するカーボンニュートラル //



カーボンニュートラルの 実現に向けて

「森林の循環」と木材利用により、秋田の森林がカーボンニュートラルの実現に向けて貢献していきます。将来に渡って貢献度を高め、私たちの未来を明るくするためにも、林業の重要性がより高まっています。そして、わたしたちも日々の暮らしの中で、温室効果ガス削減の努力を続けることが重要なのです。

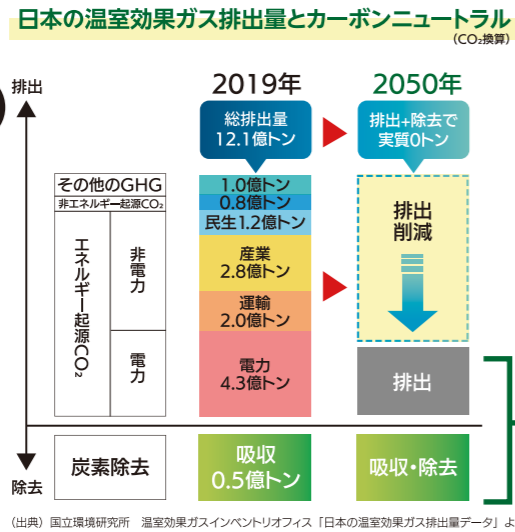


あきたの森と カーボンニュートラル

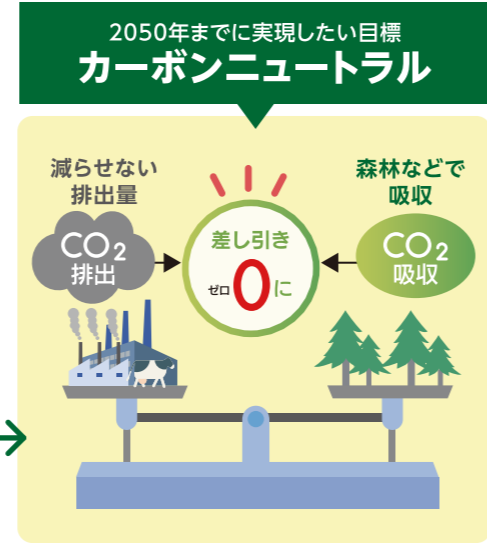


Q カーボンニュートラルってどういう意味なの？

A 温室効果ガス排出量を「全体としてゼロ」にすることです。



日本では、2050年までに「カーボンニュートラル」(=CO₂の排出と吸収の差し引きをゼロにする)を達成するという目標が立てられています。



森林によるCO₂吸収・貯蔵

大気中のCO₂増加

CO₂の排出

ブルーリソース (海洋生物・エネルギー等)によるCO₂吸収・排出回避

海洋生物によるCO₂吸収・貯蔵

CO₂吸収には森林の役割がとて大きいんだ！

グリーンカーボン

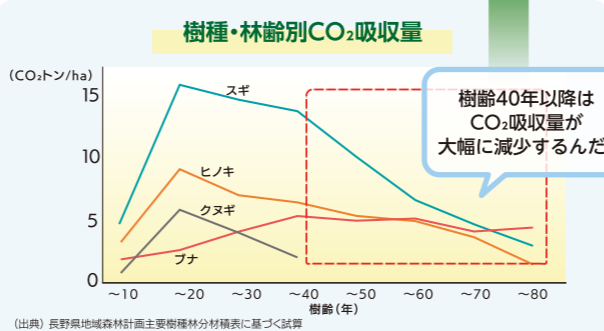
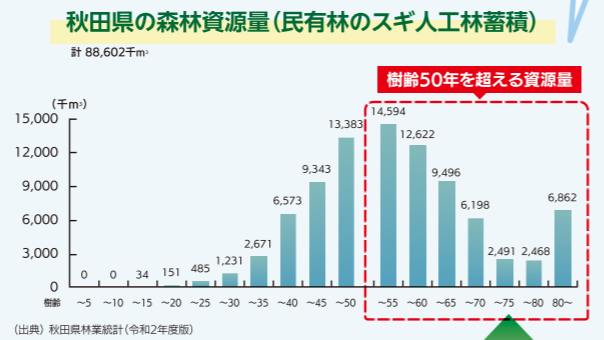
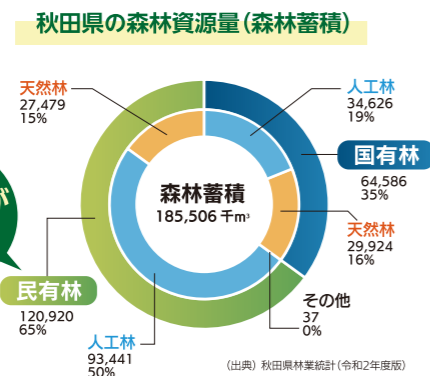
ブルーリソース

ブルーカーボン

排出削減を行っても減らせなかった部分の温室効果ガスは、海や森林などに吸収してもらい、CO₂がプラスマイナスゼロのバランスになることを目指しています。そのためにも、健全な森林環境と循環を作ることがとても大事なのです。

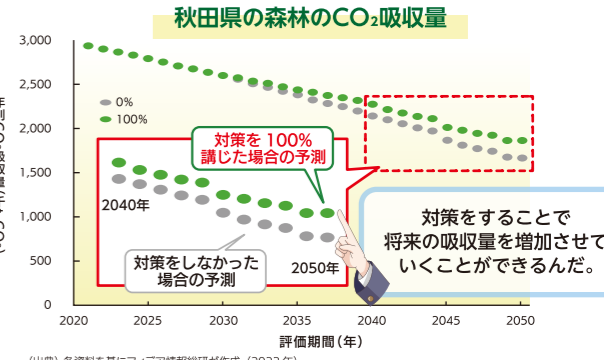
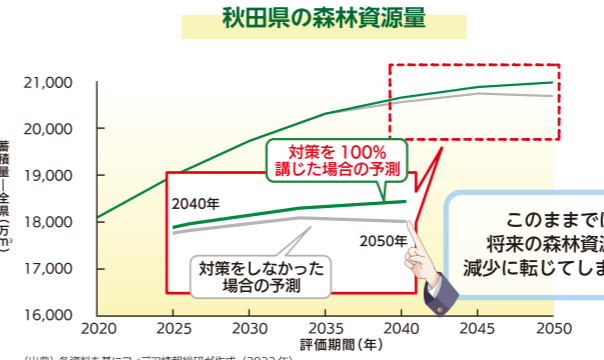
Q 秋田なら、カーボンニュートラルに貢献する森林資源が豊富なのでは？

A 全国有数の森林資源量ですが、高齢化が進んでいるので、対策が急務なのです。



課題 このまま森林の高齢化が進むと資源量・CO₂吸収量は減少します

対策 将来の資源量、CO₂吸収量を維持・増加させるため森林の若返りを図りましょう！



秋田県の森林のCO₂吸収への貢献実績 2018年実績での比較イメージ

秋田県の温室効果ガス排出量

秋田県森林全体のCO₂吸収量 2,798千トン

28%

秋田県森林全体で排出量の約28%を吸収しています。

秋田県人口 94万人

ひとりにあたり約3トン

たとえば…

エアコン1台あたりのCO₂排出量 消費電力445Wとして約4時間で1kgのCO₂排出 (1日で約6kg)

3t ÷ 0.25kg

12,000時間分のCO₂ (500日分)

これを維持、高めていくために森林に対する「対策」が必要なのね！

秋田県総人口: 941,748人 (令和4年1月1日現在) (出典) 秋田県企画振興部調査統計課生活統計班